

大会感染防止対策

【会場の入場について】

※会場の入場、再入場の際は、手指の消毒を徹底する。入場口に消毒液を設置。

※入場時に検温を実施する。 37.5度以上ある方は入場不可(選手は欠場)

※参加者は、登録した選手・監督1名・コーチ1名、大会役員・審判員・補助員等のみとする。

(会場は、5月現在250名の入場制限があり、保護者などの応援は不可…無観客で実施)

※試合に参加する選手・監督・コーチは、直前2週間の「体調記録表」を記入し、当日大会受付で提出すること。安全確保のため、提出がなければ大会への参加を取り消す場合がある。

※会場内では必ずマスクを着用すること。受付や着替え時等競技を行っていない際や会話をする場合はマスクを着用。しかし、高温多湿の環境の中熱中症などの危険性があると判断した場合は、マスクを外すよう指導すること。

※“三つの密”「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人の距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染症防止対策を各自でしっかり行うこと。

【試合(競技)について】

※試合中の選手は、マスクを外すが、役員・審判員・補助員は、マスクを着ける。

※試合中、監督・コーチのアドバイスは、マスクを着けた状態で「待て」の間に行うこと。

※ハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。

※原則、紅白帯の貸し出しは行わない。必ず、自チームで準備すること。

※給水はマイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有はしないこと。タオルも同様に

※畳及び副審椅子の消毒は、定期的に会場補助員が行う。

【その他】

※体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛など)、コロナ感染症接触者、2週間以内に外国への渡航歴や該当者との濃厚接触者は、自主的に参加(出場)を見合わせる。

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。また、参加者名簿を関係機関に提出する場合がある。